

おぼすてちようらくじ かつらの き
「姨捨長楽寺の桂ノ木」

- 指 定 千曲市指定天然記念物 平成6年3月31日
- 所 在 地 千曲市大字八幡字姨捨 4984 番 1
- 所 有 者 長楽寺
- 概 要 カツラ 1 本 寸法：地上 1m の幹囲 4m、樹高約 20m
- 公 開 いつでも可

長楽寺のカツラの木は、世阿弥元清（1363～1443）の謡曲『姨捨』の中に書き込まれ、また『更科姨捨山の古辞』（1787）や『信州更級郡姨捨山十三景之図放光院長楽寺』（1804 頃）にも描かれています。

長楽寺境内には他に 3 本のカツラの木がありましたが、この指定木は、長楽寺境内、^{おぼいし}姨石のそばにある古いカツラの雌木で、直立した主幹は地上 5m 辺から上で多数の枝を分岐し、四方へ伸びた枝は均整のとれた樹冠を形成しています。ややよじれを生じた主幹上方の太枝の一部は枯れ落ち、残部は腐植により空洞化していますが、夏季には繁茂した葉に覆われて樹勢の衰えをみせず最盛期の観があります。

「姨捨の桂の木」として古くから広く知られ、この地方の自然・文化を記念する名木です。

